

SUPER GT 第3戦 マレーシア・セパン・インターナショナル・サーキット

6月27日 天候：晴れ コースコンディション：ドライ

2025年SUPER GT第3戦セパン大会が、マレーシアのセパン・インターナショナル・サーキットで、6月27日・28日に行われた。6月28日は決勝に向けた20分間のウォームアップ走行と、55週のレースが行われた。柏木SDG C.E.O.夫妻もセパン・インターナショナル・サーキットへ応援に駆けつけた。ここはSDGにとって、二輪のレースでは多くの結果を出しているサーキットであり、験の良いコースだ。サーキットのあるクアラルンプールには決勝日の早朝に激しい雷雨が襲い、天気予報も午後には雨の降る時間帯もあると伝えていた。そのために各チームとも、雨天を想定した対策をとりながら決勝に向けた準備を進めた。

15時10分から20分間のウォームアップ走行は曇り空の下でスタート。最初に平峰一貴選手がドライブし、4周してピットイン。バゲット選手に交代し、マシンと朝、降った雨の影響など路面の変化状況を確認して決勝に備えた。

いよいよ決勝が気温30℃、路面温度38℃というドライコンディションでスタート。ベルトラン・バゲット選手はオープニングラップでポジションを1つ上げて戻ってきた。安定したラップを刻むバゲット選手。1回目のピットインは23周終わり、2位まで順位を上げたタイミングだった。ピットアウト時点では7番手だったが、1回目のピットインを終えた車両の中では3番手で平峰選手はコースに戻った。平峰選手は前の2台と同じ1分55秒台で周回、3位をキープ。上位陣のピットインが始まり、34周目、平峰選手が総合3位に上がる。平峰選手とトップの差は3秒差。十分、トップ2台を視野に入れながら周回。そこからラップによっては上位陣を上回る安定したペースで周回を重ね、3位でチェッカーを受けた。



【コメント】

■TRS IMPUL with SDG 平峰一貴選手

バゲット選手が最初のスティントで良い走りをしてくれて、その時点でピットを済ませていたチームの中で4番手でコースに戻り、前に19号車が見えたので、そこはどうしても食らいつきたかったし、うまくオーバーテイクできて良かったです。最後の数周は少しきつい場面もありましたが、なんとか抑え切って3位でチェッカーを受けられて本当に良かったです。もちろん優勝を目指して戦っている以上、3位で満足してはいけませんが、エンジニアも含め、ドライバーとしても出し切れたと思います。とはいえ、まだ足りない部分もありますので、そこは引き続きしっかり考えて改善していきたいと感じています。

■TRS IMPUL with SDG ベルトラン・バゲット選手

スタートは良かったです。1コーナーではほぼ2台を抜きかけたのですが、37号車に押し出されてしまいました。少しギリギリの場面でしたが、ポジションはキープできたので仕方ないですね。その後は良いリズムで走ることができ、64号車をオーバーテイクしました。その時点で37号車とのギャップはかなり大きかったのですが、しっかり追いつけることができ、自分たちのレースペースには満足しています。ただ、37号車にかなり接近したときはきつかったです。フロントのダウンフォースが抜けてしまって、なかなか接近して仕掛けることができませんでした。それにトラフィック(周遅れ)もうまく抜けないタイミングが重なってしまいました。それでも、前の車とのギャップを小さく保てたことがチームとしても、そして第2スティントを担当した一貴のポジションアップにもつながりました。彼は本当に素晴らしい仕事をしてくれました。今日の3位という結果は、現時点での最大限の成果だったと思います。まだクルマのセットアップ面で詰めるべき部分はありますが、着実に進歩しており、優勝争いに加わるレベルに近づいていると感じています。今日のレースをポジティブに受け止めています。

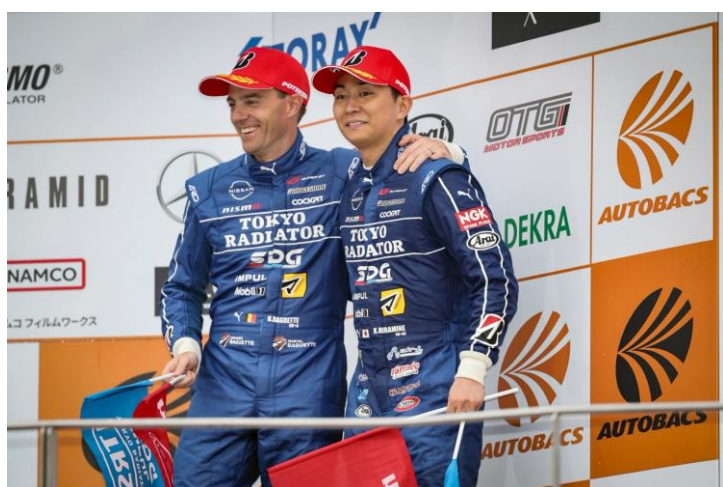
■TRS IMPUL with SDG 星野一樹監督

天候も自分たちに向いてくれて、自分たちのタイヤチョイスから何から、もう本当に自分たちが、あのパッケージでできるすべてをやりました。本当にもう、ここから1秒すら削れないんじゃないかというぐらい、やりきった感じです。チームとしては最大限出せたと思います。でもそれが3位っていうのは現状、辛いところではありますがでもやはり、自分たちは優勝したぐらい嬉しい3位でした。同じ3位でも、悔しい3位があれば嬉しい3位があると思いますが、今日は嬉しい3位でした。自分たちが現状持っているパッケージの中で、本当にこれ以上できなかったと思いますし、ドライバーも力強いペースで走り続けてくれて、スタッフのピットストップも良かったし、自分たちができるマネジメントとしても、作戦からタイヤチョイスからいろんなことも含めて、みんなで最大限出せたと思ってます。最終戦までチャンピオン争いに食らい付いていけるように、この後も頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。

SNS ACCOUNT @IMPUL_official @impul_official IMPUL

2025 SUPER GT

第3戦 マレーシア・セパン・インターナショナル・サーキット Photo Gallery



SNS ACCOUNT @IMPUL_official @impul_official IMPUL



RACING INFORMATION

The logos of the three participating organizations are displayed in the top right corner. From top to bottom, they are: TRS (Tokyo Radiator Service) in a black shield-like shape, IMPUL in bold black capital letters, and SDG (Saitama Development Group) in red and blue stylized capital letters.

 AUTOBACS SUPER GT S	2025 AUTOBACS SUPER GT ROUND 3 SUPER GT MALAYSIA FESTIVAL 2025 June 2025 26 Thu 27 Fri 28 Sat	 SUPER GT
Series Title Sponsor —	Series Partner —	Series Sponsor —
• Sanctioned by: Fédération Internationale de l'Automobile / Motorsports Association of Malaysia • Authorized by: GT Association • Supported by: Ministry of Economy, Trade and Industry Japan Ministry of Land, Infrastructure and Transport and Tourism Japan / Liberal Democratic Party Parliamentary Association for Motorsports (Japan)		

Weather: Cloudy / Track: Dry

Pos.	No	Car/Team	Lap	TotalTime	Diff	Gap	DriverName	Lap	BestTime
	1	37 Deloitte TOM'S GR Supra TGR TEAM Deloitte TOM'S	55	1:48'01.698			Ukyo Sasahara Giuliano Alesi	2/32 6/23	1'54.601 1'55.552
	2	8 ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #8 ARTA	55	1:48'20.744	19.046	19.046	Tomoki Nojiri Nobuharu Matsushita	6/34 2/21	1'55.009 1'54.218
	3	12 TRS IMPUL with SDG Z TEAM IMPUL	55	1:48'25.280	23.582	4.536	Kazuki Hiramine Bertrand Baguette	5/32 2/23	1'55.095 1'54.803
	4	17 Astemo CIVIC TYPE R-GT Astemo REAL RACING	55	1:48'26.805	25.107	1.525	Koudai Tsukakoshi Syun Koide	8/35 2/20	1'54.704 1'54.777
*1	5	19 WedsSport ADVAN GR Supra TGR TEAM WedsSport BANDOH	55	1:48'32.905	31.207	6.100	Yuji Kunimoto Sena Sakaguchi	3/20 8/35	1'54.127 1'55.047
*3	6	100 STANLEY CIVIC TYPE R-GT STANLEY TEAM KUNIMITSU	55	1:48'33.108	31.410	0.203	Naoki Yamamoto Tadasuke Makino	6/20 4/35	1'55.049 1'55.234
	7	1 au TOM'S GR Supra TGR TEAM au TOM'S	55	1:48'33.937	32.239	0.829	Sho Tsuboi Kenta Yamashita	2/31 6/24	1'55.267 1'55.784
	8	38 KeePer CERUMO GR Supra TGR TEAM KeePer CERUMO	55	1:48'40.904	39.206	6.967	Hiroaki Ishiura Toshiki Oyu	4/19 6/36	1'54.946 1'55.410
	9	14 ENEOS X PRIME GR Supra TGR TEAM ENEOS ROOKIE	55	1:48'40.931	39.233	0.027	Kazuya Oshima Nirei Fukuzumi	9/27 4/28	1'55.803 1'55.284
	10	64 Modulo CIVIC TYPE R-GT Modulo Nakajima Racing	55	1:48'43.414	41.716	2.483	Takuya Izawa Riki Okusa	5/33 2/22	1'55.479 1'54.627
	11	3 Nitterra MOTUL Z NISMO NDDP	55	1:48'53.813	52.115	10.399	Daiki Sasaki Atsushi Miyake	3/21 5/34	1'54.874 1'55.387
	12	16 ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #16 ARTA	55	1:48'54.101	52.403	0.288	Hiroki Otsu Ren Sato	2/31 8/24	1'55.406 1'54.910
	13	23 MOTUL AUTTECH Z NISMO	55	1:48'57.636	55.938	3.535	Katsumasa Chiyo Mitsunori Takaboshi	3/21 6/34	1'55.295 1'55.187
*2	14	39 DENSO KOBELCO SARD GR Supra TGR TEAM SARD	55	1:49'24.420	1:22.722	26.784	Yuhi Sekiguchi Sacha Fenestraz	2/20 12/35	1'55.710 1'55.042
	24	REALIZE CORPORATION ADVAN Z KONDO RACING		DNS			Tsugio Matsuda Teppei Natori		

*1 No.19・¥30,000fine(Official Notice No.1) Late submission of the starting Driver (14:38)
*2 No.39・Drive-through penalty(GTA SPR 13-1) Incident (Dangerous Driving) contact #1(17:00)
No.39・Time penalty 10sec (GTA SPR 27-4,GTA bulletin No,002-S) Starting Procedures(80km/h below speed)(17:14)
*3 No.100・Time penalty 10sec(GTA SPR 13-1) Incident (Dangerous Driving) contact #38(17:46)

Chief Steward: Masao Mizuno

gff.

[Handwritten signature]

水野雅男